2026 年 11 月
天沼二丁目三よし会
会長　土屋光久

会　報　2026 年度 第 4 号

☆スタンドパイプ訓練への参加、ありがとうございました。



11/01（日）に、今年度は4地区内の消火栓においてスタンドパイプ訓練を実施しました。特に震災発生時に地域住民による消火活動が実施できるよう、荻窪消防署天沼出張所の署員の方々にその手法をご指導頂きました。16名の地域の方々の参加のもと、スタンドパイプの扱い方、放水の要領等、実践に即した訓練ができたかと思います。

地域の防災、住民による『共助』に備え、今後も毎年実施していきたいと考えています。地域の皆様にも関心を持っていただき、積極的に参加いただくことにより、いざという時にこの訓練が役立つことを目指します。

☆『あまぬまみんなのフェスタ2026』 が開催されました。



10月25日（日）、旧若杉小にて、天沼地域のお祭りとして「あまぬまみんなのフェスタ2026」を昨年度に引き続き開催、多くの子どもたち、親子連れの来場にて大いに賑わいました。グランドでは飲料、焼きそば、肉巻きおにぎり、ポップコーンの販売、また白バイや救急車との記念写真等、そして体育館の会場では缶バッチづくり、防災クイズ、スタンプラリー、震災救援所の貯蔵品の紹介等にて、皆様のたくさんの笑顔があふれていました。

参加いただきました皆様、祭りの盛り上げ・ご協力に感謝します。そして、場内警備を担当いただきました天沼二丁目三よし会の役員・委員の皆様、お疲れさまでした。

★天沼小学校 震災救援所の立上げ訓練 を 11/23 に実施します。

毎年実施されている天沼小学校における震災救援所立上げ訓練です。

震度５強以上の地震が発生、その被災時に地域の方々が避難することを想定しての訓練を行います。今回は、夜間における震災発生を想定して、その夜間での運営を中心とした訓練を予定しており、救援所の所員に限定した訓練と致します。

震災救援所とは …

救援所は、地域住民により立ち上げ、運営されます。

☛ポイント①　地域住民＝町会中心の構成（共助）
▷所員は主に町会役員により構成され、年数回の打合せ・訓練により、運営方法や如何に活動すべきかの詳細が検討されています。
▷救援所の運営は、避難者の皆様の協力なしには成り立ちません。

☛ポイント②　行政(役所)からの支援は発災3日後～（公助）
▷行政は、発災直後から被災状況や成すべき救援を確認、救援に向けた準備を行います。

この震災救援所立上げ訓練を通して、震災発生時の救援所による地域への貢献を目指し、その機能や仕組みを充実させていきたく、今後も継続して実施して参ります。今後とも、地域の皆様にこの活動についてご理解いただければありがたく存じます。

★次年度の町会運営 に向けた検討・試み

現在、次年度の町会運営に関し、会則の更なる整備や新たなる情報共有のツールについて役員会にて検討を重ねております。具体的には、次号以降の会報や町会HPにてお知らせして参ります。来る年度の町会活動にもご期待ください。

すぎなみ地域コム内
天沼二丁目三よし会「個別サイト」
https://member.sugi-chiiki.com/c-amanuma2chomemiyoshikai/

『高圧洗浄機』の貸出をしております。
申込は、以下のアドレスまでお願いします。
申込先：amnm23wm@gmail.com